

ドローン等を活用して農地基盤を モニタリングするためのマニュアル

研究の背景

- 人手不足、インフラの老朽化、災害の常習化などのなか、農地基盤を健全に維持していくためには、省力的な形で農地基盤をモニタリングする方法が求められています。

研究のポイント

- ドローン空撮技術および三次元化技術を用いた農地基盤モニタリングの考え方・流れをまとめたマニュアルです。
- 圃場整備前後、維持管理、災害発生時などの農地基盤モニタリングが有効な場面を想定し、ドローン等を用いた農地基盤データ取得の流れと危険・変状箇所などの把握の方法をまとめています。
- 土地改良区職員や行政職員（農業土木技術者）が、ドローン等を活用して農地基盤のモニタリング（点検・維持管理の省力化）を実施することができます。
- 長期間、農地基盤をモニタリングしていく上での様々なシチュエーションを想定し、全体の流れを示しつつ、部分ごとでも参照できるように構成しています。



本マニュアルの構成

- ドローン等を用いた農地基盤データの取得の流れをフロー図で示し、各段階ごとに一つずつ解説しています。
- 農地基盤が大きく変化する場合である圃場整備前後における農地基盤モニタリングのタイミングと取得データの活用方法を解説しています。
- ドローン空撮と三次元化技術等を用いた圃場周辺の農地基盤の障害物・危険箇所、変状箇所の把握方法について解説しています。

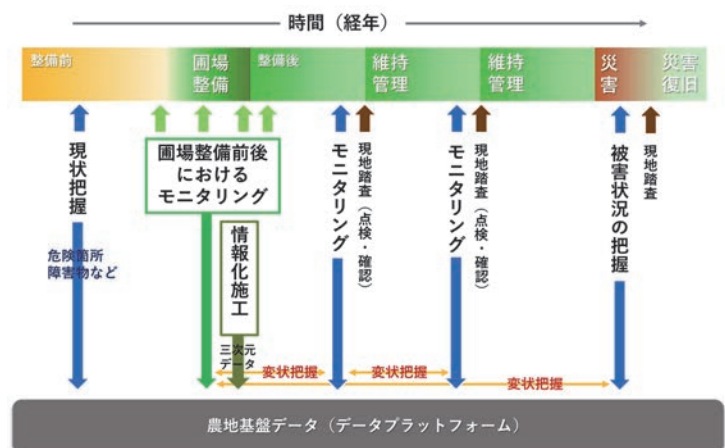


図 農地基盤モニタリングの考え方